

6 長野県佐久市岩村田本町地区

活動

岩村田本町商店街が中心となり、災害図上訓練 DIG と、災害時にも頼れる商店街をめざして求められる役割等について話し合うワークショップを実施。

地区の概要

本地区は、長野県佐久市の中心市街地にあります。中山道と佐久甲州街道が交差する位置にあり、古くからの街道沿いの宿場町として商業が隆盛を極めていました。

昭和40年には防災街区に指定され、長屋であった南北220メートルの商店街を3階建ての鉄筋コンクリートの建物に建て替えましたが、今や老朽化は進んでいます。

平成9年10月の長野新幹線佐久平駅開業に伴う、郊外型大型店の進出で町の勢いは一旦、衰えましたが、現在は商店街を挙げて活性化に取り組み、少子高齢化への対策、安全・安心のまちづくりを進め、地域コミュニティの再生など、さまざまな事業を地域の皆さんの協力のもとで進めています。

活動までの土台づくり

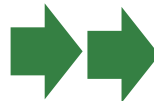
近年、地域の高齢化も進んでおり災害時の高齢者の避難の問題や、小中学校区が広範囲なため、通学時の安全確保に対する関心も高まりつつあります。

そのような中で、地区の中心に位置する商店街において、「災害時でも頼れる商店街」をめざした防災マップづくりワークショップを実施するきっかけをいただきました。これをきっかけとして、住民が地域の防災に目を向け、地域ごと、団体ごとに問題点を持ち寄って準備会合に臨みました。

準備会合準備
参加者は商店街
街役員の6名



準備会合
参加者は商店街、
PTA、消防団の
役員等の13名



防災マップづく
ワークショップ
参加者は計40名

活動の様子

◆防災マップづくり



◆防災ワークショップ



活動のヒント

- ★日頃から多くの人が集まる商店街は、人および情報のネットワークを築きつつある。この既存のネットワークを活用し、迅速かつ効率的な対応が可能です。
- ★防災マップの作成にあたって、災害に備えた資機材や物品等を販売する店舗の位置を明記するなど、商店街活動にも有益な取組みを実施しました。このような継続的な取組に向けた工夫が必要です。
- ★若手中心の会では、自主的、かつ、機動的な活動組織として育成が期待できますが、災害時要援護者の情報の把握等に課題を生じることがあるので、参加者の年代は幅広くするなどバランスを考慮することが重要です。